

2022年度 安全教育計画書
(2022年4月期～2023年3月期)

ニュー飛騨観光バス(株)富山営業所

	4月期	5月期	6月期
安全教育計画項目 (予定)	(1) 事業用自動車を運転する場合の心構え (2) 運転者の運転適性に応じた安全運転 (適正診断結果に基づく個別指導) (3) 2022年度安全に関する個人目標の確認	(1) 事業用自動車の運行の安全及び旅客の安全を確保するために遵守すべき基本的事項 (2) ドライブレコーダー記録を活用したヒヤリ・ハットの情報共有	(1) 異常気象時における対処方法 (2) 非常用信号用具、非常口、消火器等の取扱いについて (3) 健康管理の重要性 (脳疾患、心疾患等)
月間安全目標 (サブタイトル)	「新年度、新たな気持ちで！ゆとりのある安全運転を常に認識しよう！」 時間と心に余裕のある運転を心がけましょう	「伝える力」→「気づく力」→「報告する力」を身につけよう！ コミュニケーション強化月間。コミュニケーションは職場を良くするため基本です。	「カーブや山道では、対向車の内回りに気をつけよう」 相手のミスに巻き込まれない運転をしましょう。
教育実施項目と研修のねらい (研修資料その他詳細については別紙教育録を参照の事)	○バス事業の公共性と社会的使命を理解し、プロドライバーとして他の模範となる運転をするために必要な心構えについて学習します。 ○自動車事故対策機構実施の「適正診断」等の結果に基づく個別指導を実施します。 ○前年度末に設定した、2022年度安全に関する個人目標を唱和し、営業所全体の安全に対する意識の高揚をはかります。また定期的にモニタリングを実施し、達成度を確認する事により、常に安全を念頭においた運転を目指します。	○日常点検の重要性と実施項目の理解。また、点呼の重要性と正しい点呼の実施方法について学習します。 ○ヒヤリ・ハット体験を共有する事で、どこに問題があり、どうすれば防ぐ事ができたかを討議する事で、その体験を次の運転に活かし、職場全体の安全運転に対する意識の高揚を目的とします。	○近年多発している「ゲリラ豪雨」を始めとする異常気象時における「乗客の安全確保」について学習します。 ○実技を通じて、非常用信号用具・非常口・消火器等の取扱い方法を学習し、取扱いに習熟する事で、緊急時でも冷静かつ適切な対応・処置が出来る事を目的とします。 ○運転に悪影響を及ぼす生活習慣病の危険性を知り、「健康診断結果」を生活習慣の改善に活かす事を目的とします。
外部研修			
指導担当者	安田 妙子(所長/統括安全責任者)	安田 妙子(所長/統括安全責任者) 中齋 直哉(整備管理者)：日常点検担当	安田 妙子(所長/統括安全責任者)
その他	・春の全国交通安全運動 ゆずりあう 心でひろがる 無事故の輪 (令和4年4月6日～4月15日) ・新入学(園)期における交通事故防止	・自転車安全利用の推進重点月間	・不正改造車排除強化月間 (令和4年6月1日～6月30日) ・「たっしゃけ 気づけらえ」運動の推進重点月間
国土交通省指導・監督の指針	① ⑧	② ②(貸切バス事業者の指導・監督の指針)	⑩

※業務上都合により、研修の予定が変更となる場合があります。部外講師による研修の開催は、新型コロナウイルス感染症の感染状況をみて判断します。安全教育計画項目(予定)の緑色文字表示は、貸切バス事業者の指導・監督の指針です。

2022年度 安全教育計画書
(2022年4月期～2023年3月期)

ニュー飛騨観光バス(株)富山営業所

	7月期	8月期	9月期
安全教育計画項目 (予定)	<p>(1) 事業用自動車の構造上の特性</p> <p>(2) 運転者の運転適性に応じた安全運転 (適正診断結果に基づく個別指導)</p> <p>(3) ドライブレコーダーの記録を利用した、運転者の運転特性に応じた安全運転の方法</p>	<p>(1) 交通事故に関わる運転者の生理的及び及び心理的要因並びにこれらへの対処方法</p> <p>(2) 危険の予測と回避並びに緊急時における対応方法</p>	<p>(1) 主として運行する路線若しくは経路又は営業区域における道路及び交通に状況</p> <p>(2) ドライブレコーダー記録を活用したヒヤリ・ハットの情報共有</p>
月間目標 (サブタイトル)	<p>「周りの車に調和した運転をしよう」</p> <p>交通環境に調和した運転を心掛けましょう。</p>	<p>「横断歩道は歩行者優先 優しい心を歩行者に！」</p> <p>横断歩道は歩行者のものです。</p>	<p>「安全確保の優先運転」</p> <p>安全を第一に運転しましょう。</p>
教育実施項目と研修のねらい (研修資料その他詳細については別紙教育録を参照の事)	<p>○死角が原因で発生した事故例を検討する事で、大型車特有の死角の理解。常に死角を意識した運転の大切さの理解します。</p> <p>○適性診断のデータを分析し、各運転者が自身の運転傾向(運転のくせ等)を知る事で短所を改善、良い点をさらに伸ばす事で、より安全な運転を目指します。</p> <p>○ドライブレコーダーデータにより、自身の運転特性を知り、それに応じた安全な運転について考え、実践する事を目的とします。</p>	<p>○多岐に渡る項目であり、今月の研修項目では「過労運転」について研修を実施します。過労が運転に及ぼす影響を理解し、過労を防止するにはどのような注意が必要かを考えます。</p> <p>○見えない危険を予測し、事故を未然に防ぐ事を目的とします。危険の捉え方には個人差もあるため、グループワーク形式で討議する事で、危険に対する感受性を広げる事が研修の目的です。</p>	<p>○当営業所の近隣で発生した「ヒヤリ・ハット」を分析、情報共有する事で、営業所全体での安全運転に対する意識の高揚を目的とします。危険・要注意ポイントのハザードマップ作製も行います。</p> <p>○ヒヤリハット体験の情報をすべて運転者に提供し、その危険は何が原因で、どうすれば防ぐ事ができたかを考える事で、より安全な運転につなげる事を目的とします。</p>
外部研修			
指導担当者	安田 妙子(所長/統括安全責任者) 中齋 直哉(整備管理者) (1) 担当	安田 妙子(所長/統括安全責任者)	安田 妙子(所長/統括安全責任者)
その他	<ul style="list-style-type: none"> 夏の交通安全県民運動「さわやかに夏を走ろう 北陸時」(令和4年7月11日～7月20日) 飲酒運転の根絶重点月間 	防災週間 (令和4年8月30日～9月5日)	秋の全国交通安全運動 (令和4年9月21日～9月30日) 防災の日 (令和4年9月1日)
国土交通省指導・監督の指針	③ ⑧ ① (貸切バス事業者の指導・監督の指針)	⑦ ⑨	⑥ ② (貸切バス事業者の指導・監督の指針)

安全教育計画項目(予定)の緑色文字表示は、貸切バス事業者の指導・監督の指針

2022年度 安全教育計画書
(2022年4月期～2023年3月期)

ニュー飛騨観光バス(株)富山営業所

	10月期	11月期	12月期
安全教育計画項目 (予定)	<p>(1) 安全性の向上を図るための装置を備える事業用自動車の適切な運転方法</p> <p>(2) ドライブレコーダーの記録を利用した運転者の運転特性に応じた安全運転</p>	<p>(1) 旅客が乗降する時の安全を確保するために留意すべき事項</p> <p>(2) 確実なタイヤチェーン装着技術の習得</p> <p>※ (2) については実習を予定しています</p>	<p>(1) 主として運行する路線若しくは経路若しくは経路または営業区域における道路及び交通の状況</p> <p>(2) 非常用信号用具、非常口、消火器等の取扱いについて</p> <p>(3) ドライブレコーダー記録を活用したヒヤリ・ハットの情報共有</p>
月間目標 (サブタイトル)	<p>「だろう運転」は一生の損</p> <p>小さなミスが取返しのつかない 大事故を招きます。</p>	<p>「死角を意識した運転を心掛ける」</p> <p>見えない所にこそ大きな危険が潜んでいます。</p>	<p>「心にゆとりとシートベルト」</p> <p>何かと気ぜわしい師走。 心にゆとりを持って運転しましょう。 シートベルトもお忘れなく！</p>
教育実施項目と研修のねらい (研修資料その他詳細については別紙教育を参照の事)	<p>○当該装置の機能への過信及び誤った使用方法が交通事故の要因となり得る事を理解し、正しい機能と使用法を理解する事で、より安全な運転を目指します。</p> <p>○ドライブレコーダーのデータより自身の運転特性を知り、それに応じた安全な運転を実践する事を目的とします。</p>	<p>○乗降時に多い事故例を元に、事故原因の分析と防止策を考える事で、安全な乗降を目指します。</p> <p>○実際のバス車両を使用して、必要な時に速やかに確実なタイヤチェーンの装着が出来る技能の習得を目的とします。</p>	<p>○よく利用する道路の、冬場の隠れた危険性を考えると共に、雪道の特性を理解し、安全な運転のために必要とされる知識の習得を目的とします。(ハザードマップ作製あり)</p> <p>○実技を通じて、非常用信号用具・非常口・消火器等の取扱い方法を学習し、その取扱いに習熟する事で、緊急時でも冷静かつ適切な対応・処置が出来る事を目的とします。</p> <p>○ヒヤリハット体験の情報を共有し、何が原因で、その再発防止策を考える事で、より安全な運転を目指します。</p>
外部研修			
指導担当者	安田 妙子 (所長/統括安全責任者)	安田 妙子 (所長/統括安全責任者)	安田 妙子 (所長/統括安全責任者)
その他	<ul style="list-style-type: none"> 「たっしゃけ 気づけられエ」運動の推進重点月間 	<ul style="list-style-type: none"> 3UP運動の推進重点月間 世界津波の日 (令和4年11月5日) 	<ul style="list-style-type: none"> 年末の交通安全県民運動 (令和4年12月11日～12月20日) 飲酒運転の根絶重点月間
国土交通省指導・監督の指針	⑪ ① (貸切バス事業者の指導・監督の指針)	⑤	⑥ ② (貸切バス事業者の指導・監督の指針)

安全教育計画項目 (予定) の緑色文字表示は、貸切バス事業者の指導・監督の指針

2022年度 安全教育計画書
(2022年4月期～2023年3月期)

ニュー飛騨観光バス(株)富山営業所

	1月期	2月期	3月期
安全教育計画項目 (予定)	(1) 事業用自動車の構造上の特性 (2) 安全性の向上を図るための装置を備える事業用自動車の適切な運転方法	(1) 乗車中の旅客の安全を確保するために留意すべき事項 (2) 上記項目について実際の車両を使っ ての体験学習	(1) ドライブレコーダーの記録を利用し た運転者の運転特性に応じた安全運転 (2) ドライブレコーダー記録を活用した ヒヤリ・ハットの情報共有 (3) 健康管理の重要性 (目の視野について)
月間目標 (サブタイトル)	自分は大丈夫と思う 「思い込み」をなくそう! 事故のタイミングは、 平等にやって来ます。	「視野を広く持ち、かもしれない 運転を心掛ける」 広い視野を持ち、用心深い、 カメレオンのようにになりましょう。	「春は若葉マークにゆずり合って 気持ちの良い運転をしよう」 先輩ドライバーとして、 見守ってあげましょう。
教育実施項目と研 修のねらい (研修資料その他詳 については別紙教育 を参照の事)	○大型バス特有の車高、視野、死角、内輪 差などの特性を理解し、その特性に応じた 安全な運転方法の習得を目的とします。 ○当該装置の機能への過信及び誤った使用 方法が事故の要因となり得る事を理解し、 正しい機能と使用方法を理解する事で、安全 な運転が出来る事を目的とします。	○多岐に渡る項目であり、今月の研修で2 回目の研修となります。今回はバスの性能 から見た安全確保について考えてみます。 バスの動力性能及び制動性能、走行中のバ ス車体に及ぼす遠心力の影響などを理解す る事により、より乗客にとって快適な運転 を目指します。 ○運転者本人が乗客の立場であったらどう 感じるか?実際の車両を使っ ての急ブレーキ体験、やや高速でのカーブ通過時の遠心 力の体験をする事により、乗客にとって快 適な運転とは何かを考えます。(コースや 走行条件は予め設定します。)	○ドライブレコーダーのデータにより、 自身の運転特性を知り、それに 応じた安全な運転を考えます。 ○ヒヤリハット情報を共有し、その危険は 何が原因で、どうすれば防ぐ事ができたか を考える事で、さまざまな場面で安全な運 転を実践できる事を目的とします。 ○目の疾患と運転の関連について解説しま す。 ○2022年度の振り返りと次年度の個人目 標設定を行います。
外部研修			
指導担当者	安田 妙子 (所長/統括安全責任者) 中斎 直哉 (整備管理者)	安田 妙子 (所長/統括安全責任者)	安田 妙子 (所長/統括安全責任者)
その他		(2) については実習 (事前にコースや走行条 件を設定します。) を予定しています。	・3UP運動推進重点月間 ・「リスク管理をあらためて再確認」 ・富山県原子力防災訓練 ・「車両火災予防運動」
国土交通省指導・監督の指針	③ ⑪	④	①② (ともに貸切バス事業者の指導・監督の指針) ⑩

安全教育計画項目 (予定) の緑色文字表示は、貸切バス事業者の指導・監督の指針